

専教寺報

浄土真宗本願寺派 一乗山 専教寺

題字 大橋曾水

〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町矢掛2033

TEL.0866-82-0488

URL.<https://www.senkyoji.com/>

E-Mail.senkyoji@senkyoji.com



菊：楢崎さんの作品

一味(いちみ)
——もともと特別なオンラインワン——

住職 釋龍生

先日、ご門徒の葬儀があり、とある葬儀ホールで葬儀のおつとめをさせていただいた。その後、控室で着替えていた時、壁を伝うようにおぼろげに聞こえてきたピアノの生演奏の音。聞き覚えのある曲で、よく聞いてみたら、私の大好きな曲、「世界に一つだけの花」だった。この曲は、S M A Pという平成の人気アイドルグループが歌い、当時のヒットチャートで一位を獲得した曲だ。私はこの曲の歌詞に大好きなフレーズがある。それは、「小さい花や

大きな花、一つとして同じものはないから、ナンバーワンにならないくてもいい、もともと特別なオンラインワン」私はこの歌詞から、姿や形や考え方、価値観は違えども、そのままで無理せず、背伸びせず、共に個性を伸ばしながらこの世の中で仏法に生かされている歓びを味わう。この曲を聴くたびに、あらためて遇い難い仏法に遇わせていただいている有り難さを感じる。

「読売新聞」に、「ゴルゴ13」の作者で、お浄土へ参られた劇画家(漫画家)のさいとう・たかを氏のことを書いたコラムが掲載さ

れていた。さいとう氏は、漫画家の仕事を複数で分業して、その集合体を製作プロダクションという形で成立させた第一人者である。その製作プロダクションを起こす着想としては、機械の絵を誰よりもうまく描いた友人が、どうしても人物をうまく描くことができなくて、漫画家をあきらめたことによるという。さいとう氏は「絵が得意といっても人物、風景、機械と才能は色々です。私はよく『宝石だけを採らず、石を集めて宝石を作るべきだ』と関係者に話していたものです。」と述べられていた。

「浄土三部經」の一つ、
「仏説阿弥陀經」に、出
てくる四色の蓮華、

青色青光、黄色黄光、
赤色赤光、白色白光、
微妙香潔、云々。

阿弥陀さまのお浄土に
莊嚴される宝池には、妙
なる姿で清らかな香りを
たたえる青、黄、赤、白
色の四色の蓮華が浮かび、
色は違えども共に光り、
照らし合う。姿、形は違
えどもありのままの姿で、
全てが平等な存在として
共に光り輝く世界がお浄
土である、ということを示す。

また、親鸞聖人のご和
讃には、

尽十方無礙光の

大悲大願の海水に

煩惱の衆流帰しぬれば

智慧のうしほに一味な
り

とある。このご和讃の意
味は、阿弥陀さまの大い
なる慈悲の本願の海に、
あらゆる煩惱の川が流れ
こむと、智慧の海水と一
つ味になる、である。そ
れは、私たちが娑婆の終
に、お念仏の功德でお浄
土へ参り、仏さまへと尊
く仕上げていただくこと
で、石が集まり宝石とな
るように、一つ味、一味
となるのである。

「馬鹿でもいい、馬も鹿
も人間と同じ生き物だ」
ある高校の先生が教え
子の生徒に贈った言葉。
先の曲のフレーズと反芻
してとても心に染みる。



境内山門の屋根瓦の葺き替え工事を行いました。

境内山門の屋根瓦の葺き替え工事が完了して、きれいに生まれ変わりました。

工事費は護寺会計より計上させていただいております。ありがとうございました。

専教寺の臥龍松の紹介映像を

倉敷市公式YouTube「高梁川流域デジタルアーカイブ」

で観ることができます。専教寺のホームページにもリンクしていますので、ぜひご覧ください。

お月さま、西へ

坊守 佐々木 ひろみ

コロナ禍により、報恩講などの行事に門信徒参加ができなくなって約二年になります。ご門徒の皆さまにお会いする機会が少なくなっていますが、皆さまお元気ですか。

矢掛に道の駅がオープンして、現在少し感染者数が少ない傾向にあるので、休日には、町中に観光客を見かけるようになりました。専教寺に臥龍松を見に来てくださる方もおられます。

さて、私も仕事に復帰して、家で過ごすことができるのも土日だけ、という生活をしています。三歳の息子は、ようやく

泣かずにこども園に行けるようになり、初めての運動会も楽しんで参加することができました。

先日、息子と一緒に公園へ遊びに行きました。空を見上げると、西に傾いた白い月がありました。月が大好きな息子は大はしゃぎ。その時の会話が、印象的でした。

息子「お月さまがあるねえ。お月さまは、どこに行くの？」

私「お月さまは、西に帰るんだよ。」

息子「西に帰ったら、お月さまのお母ちゃんが待ってるの？」

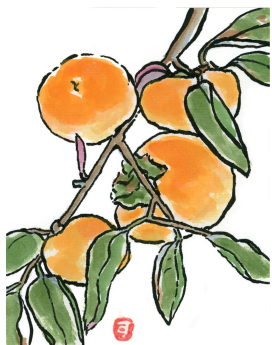
まあ、なんてかわいいことを言うんだらうと、ほえましく思いました。

家に帰って、住職にその話をする、「それは阿弥陀さまのお浄土のことだよだね。」と言われました。その時、先日、お彼岸の意味について住職に尋ねたときに教えてもらった話を思い出しました。

「西方浄土」という言葉を聞かれたことがあるかもしれません。阿弥陀さま（親さま）のお浄土は西の彼方にあるとお経に説かれています。お彼岸は、春分の日や秋分の日あたりに太陽が真東から昇り、真西に沈む頃を言います。つまり、太陽はお浄土のある方向の真西に沈んで行くのです。ですから、お彼岸は、お

浄土に還り仏さまになられたご先祖を偲ぶとともに、阿弥陀さまがいつてもわたしたちのそばで、救いのおはたらきを届けてくださっていることに、お念仏をいただいて改めて感謝する日なのです。

この話と、月の話を重ねてみると、「お母ちゃん（親さま）がいるところに帰る」というところであつながらなあと、納得しました。息子の発言には、もちろんそんな難しい意味はありませんが、私自身もいろいろと気付かせてもらった一場面でした。



●お知らせ●

浄土真宗本願寺派では、重点プロジェクト（貧困の克服に向けて）に取り組んでいます。これを受けて専教寺では、子どもたちを育むために、以下の取り組みをしています。

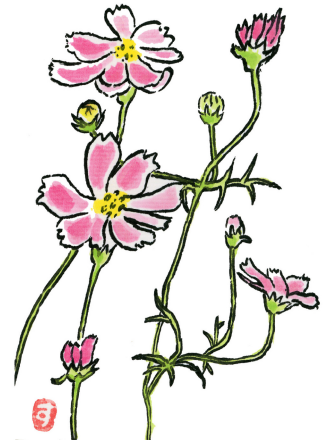
○取組内容：貧困克服支援団体（矢掛町、倉敷市、笠岡市）への物資支援

○支援回数：年3回（2月、6月、10月）

集まった物資は、備中里組を通して、支援団体へ届けています。今後、ご協力いただける方は、2月、6月、10月の15日までに、以下の物を専教寺に届けてください。（持ち込みでも宅配便でも受け付けます）少しでも構いませんので、ご協力いただけるとありがたいです。

- ・食料品（消費期限が1ヶ月以上あるもの）
- ・玩具（小学生以下対象）
- ・文房具（新品）
- ・絵本（無記名のもの、破れのないもの）
- ・子供服（洗濯済、汚れのないもの）
- ・学習参考書

挿絵 内村 壽美子



臥龍松保存のための寄付をお願いします

臥龍松を維持管理するには
たくさんのお金がかかります。
矢掛町の重要文化財の保存に
ぜひともご協力下さい。

一口1,000円から受付けています。
1,000円ご寄付の方には臥龍松のポストカード
をプレゼント。お寺にご連絡下さい。



※臥龍松保存の寄付はあくまで任意です。

自他ともに心豊かに

前坊守 佐々木 京子

「近くを散歩してみようかなという気持ちに、やっとなれましたので頂いたパーカーが有り難いです。」とAさんがおっしゃったのは、豪雨災害の年の秋でした。ご主人と二人で知り合いのお宅へ避難して、着の身着のままの生活の最中でした。「頂いた服を着て来ました。」奥様のお墓参りに来られたBさんは、笑顔でパーカー姿を見せて下さいました。言葉は少ないけれど、“ありがたい”の気持ちが身体中にあふれていました。Bさんは、みなし仮設住宅での避難生活が続いていました。

豪雨災害発生直後は、ご門徒の方々が持ち寄ってくださったタオル、衣料品、食料品などの支援物資を、住職が受け入れ窓口へ届けました。いずれも被災者への思いを込めた品々です。その後も続く避難生活に、私たちにできることはないかと思いつつ秋になり、専教寺仏教婦人会の役員さんを集まってもらいました。何ができるだろうかとみんな思いは同じです。「これから寒くなるから、パーカーはどうでしょう。」ということになり、インターネットで調べて取り寄せ、役員で発送作業をさせていただいた次第です。皆さんに喜んでいただきほっとしました。ひとりではできないことも、

仏教婦人会のおかげでできました。

しかし、ご苦勞は続いていることだろうと思いついておりました。

そして、災害から三年目の今年七月七日、Cさんから仏教婦人会へ絵手紙が届きました。お届けしたパーカーが外出着となり、パーカーの洗濯は外出しない日を選んで行い、着用し続けた日々であつたと記されています。災害の悲惨さに胸が締め付けられます。Cさんは、みなし住宅に避難中にご主人が病気で亡くなられ、二重の苦しみ、悲しみの三年間でした。寒さが身に染みる失意の中で、温かく支えられて明るく過ごせる幸せを感じるこの頃とも書いてあります。

苦しみを乗り越えようとされている様子がうかがえて、安堵いたしました。お手紙の中央にパーカーが力強く描かれていて、感謝の心を表してくださっている、胸が熱くなります。

ささやかな一着のパーカーを活用して下さったみなさま、有り難うございます。健康に気をつけてお過ごし下さい。

「自他ともに心豊かに生きることでできる社会の実現（浄土真宗の教章）」に向けて、仏教婦人会は活動しています。痛みを分かち合い心をこめた活動を、みなさまとともに続けていきたいと思います。





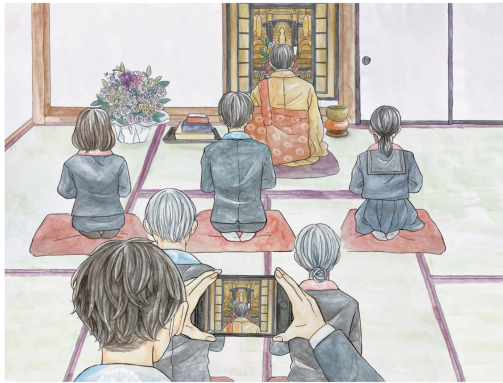
永代経法要 令和3年4月25日（日）



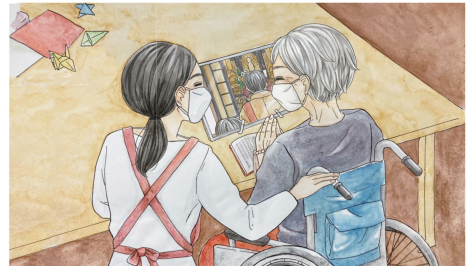
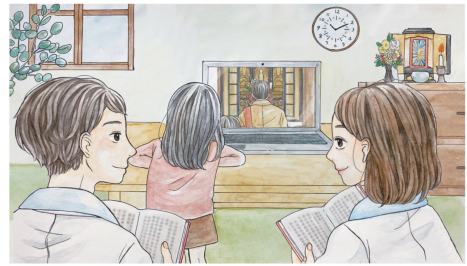
納骨堂落慶法要 令和3年4月25日（日）



境内池清掃奉仕 令和3年9月13日（月）
ご奉仕ありがとうございました



つながりの中で
生きてる



浄土真宗本願寺派（西本願寺）



ポスターのデザインと
メッセージの詳細は
ホームページに
掲載しています。

新たな日常 新たな気持ちで ご法事を

令和3年 年忌法要 ご法事は所属のお寺とご相談ください。

令和3年 (2021年)	年忌法要	一周忌	三回忌	七回忌	十三回忌	十七回忌	二十三回忌	二十五回忌	二十七回忌	三十三回忌	五十回忌	百回忌
	ご往生年	令和2年 (2020年)	令和元年 平成31年 (2019年)	平成27年 (2015年)	平成21年 (2009年)	平成17年 (2005年)	平成11年 (1999年)	平成9年 (1997年)	平成7年 (1995年)	平成元年 昭和64年 (1989年)	昭和47年 (1972年)	大正11年 (1922年)

※百回忌以降は五十回忌ごとに行います。なお、地域によっては二十五回忌を二十三回忌と二十七回忌に分けて行われる場合もあります。



1 1月厳修予定の報恩講法要、来年1月の元旦会について、国内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大、クラスター防止のため、門信徒の参拝を中止します。

除夜会 12月31日(金)午後11時45分～

除夜会の除夜の鐘は、鐘楼(屋外)で撞きますので、厳修いたします。
お参りの際には、必ずマスク着用の上、お参りください。